



## 工場のDX化が一気に加速 スタッフ全員への正確な情報伝達が可能に

中国木材では、製材工場におけるリアルタイムな業務指示と、安全な現場連携を目的として、工場単位での拠点内コミュニケーションとしてBuddycomを導入しました。

現在は、能代工場と郷原工場を中心に174台導入しており、能代工場では製材・保全・物流・研磨・集材の全5つの課ごとにグループを作成し、**現場のスタッフ全員が使用しています。**

以前は簡易無線機を利用していましたが、サイズが大きく持ち運びにくい点や、工場外では電波が届かないなど、通信距離が限られていたことに課題を感じていました。

また、外国人スタッフや新入社員との会話では、言葉の壁や伝達ミスなどの問題があり、“伝え方”に工夫が必要でした。

今回、スマホになったことで、**無線機以外の指示書のペーパーレス化を進めたり、自社開発の在庫管理アプリなどを導入することができ、工場のDX化が一気に進みました。**



# 部署を超えた連携により、 機械の停止時間短縮・稼働効率向上を実現

## 主な使用機能



## 騒音環境でも効率的な情報共有が可能

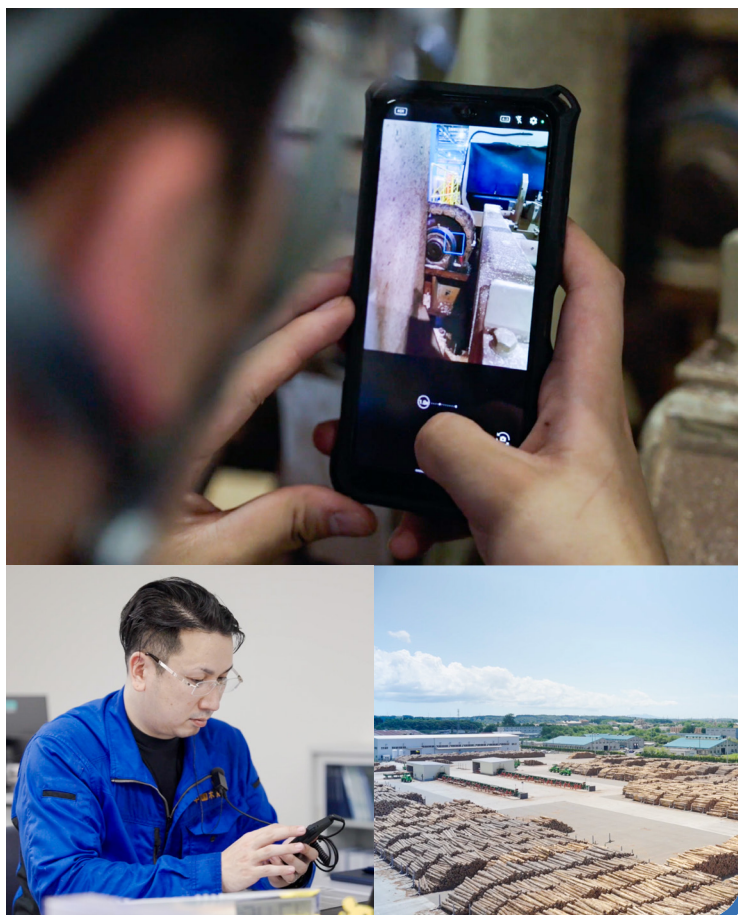
作業の中心となる製材課の通話を、他部署も聞くことができる設定にすることで、全員が製造ラインの状況を把握し、効率的に動くことができる体制を構築しました。

製材課からの要望を受けて、迅速に修理できるようになり、従来よりも機械の停止時間が大幅に短縮され、工場全体の稼働効率が上がっています。

## 外国人スタッフの育成にも活用

外国人スタッフや新入社員の育成にも活用出来ています。

名前が分からない道具や機材があっても、写真を送って聞くことができますし、通話履歴によって、「見える環境」が、現場に安心感をもたらし、ハラスメント防止の観点でも大きな効果を発揮しています。



## 導入前の課題

- 簡易無線機だとサイズが大きく持ち運びにくいこと
- 通信距離が限られ、工場外へ電波が届かないこと
- 外国人・新入社員との言葉の壁や伝達ミス

## 導入検討中の方へメッセージ

工場内は騒音が大きく、口頭で話すことが困難なほどですが、Buddycomは問題なく使用することができ、なくてはならない存在になりました。無線機と異なり、機器の買い替えや免許更新が不要となるので助かっています。今後も他工場への導入を進めていきたいと考えています。



 SCIENCE ARTS

株式会社サイエンスアーツ

東証グロス:4412

www.buddycom.net